

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修

(群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成26年度第1回

テーマ：「教員と図書館員が連携する学術情報リテラシー教育」

日 時：平成26年9月19日（金）13時30分～16時00分

場 所：高崎健康福祉大学 2号館213講義室

参加者：45名（大学図書館38名，公立図書館2名，高校図書館5名）

講 演：「教員と図書館員が連携する学術情報リテラシー教育」

静岡大学 大学教育センター講師 松尾 由希子 氏

静岡大学 附属図書館 渡邊 貴子 氏

【概要】 静岡大学では、平成24年度10月より協働授業を行なっている。協働授業は、レポートやレジュメ作成のための適切な情報リテラシー獲得を目的とし、教員と図書館職員が互いの専門性を活かしながら協力して実施するものである。協働授業の成果として、学生については文献検索力の向上，図書館利用の活発化，図書館員を学習支援者として認識し，教員については適切な文献活用によってアクティブ・ラーニング（グループ発表など）が充実し，図書館職員については文献検索に関する学生の現状と傾向の把握などが確認できた。この講演会では、教員と図書館職員それぞれの立場から協働授業の意義や目的について話し，具体的に実践の現状や効果についても紹介する。



(会場・高崎健康福祉大学)



(渡邊講師)



(松尾講師)



(動画を使った講義風景)



(質疑応答)



参加者の意見等

「非常に具体的な講演で意義深いと感じた」「参考になった」という感想が多く寄せられました。「本学でも協働授業と似たようなことを行っているが，事前の意識調査や事後のフィードバックを行っていないことに気づいた」というように，現状の業務と照らし合わせ，ヒントを得た受講者もあったようです。実績のある講演だったため，「NIIの情報リテラシー担当者研修へずっと行きたいと思っていたので，担当しておられるお二人の話を聞くことができ，大変刺激になった」と期待通りの内容に満足度も高く，「教員と一緒に授業をすることで，図書館員を見える化する素晴らしい実践」など好意的な評価が多数寄せられました。